

TRD-H/HZ/HU/HT/N シリーズ対応

VMS

集中管理ソフトウェア
運用マニュアル

株式会社スリーディー
作成 2012年7月
更新 2021年6月
Version1.2

目次

1. はじめに.....	3
特徴	
閲覧するコンピュータの仕様	
2. インストール方法.....	4
3. システムログイン.....	5
4. 基本メニューと画面構成.....	6
5. 登録.....	8
5-1. サイトマネージャー	
5-2. スクリーンレイアウトマネージャー	
5-3. アラームマネージャー	
5-4. ユーザーマネージャー	
6. ログの確認.....	16
7. アプリケーションの設定.....	19
8. 設定 パスワードの編集とユーザー情報の参照.....	24
9. ビューアー.....	25
10. 再生プレイヤー.....	30
11. バックアッププレイヤー.....	31

更新履歴

2021年6月 P3 使用するコンピュータの仕様 更新

 問合せ先

株式会社スリーディー 画像通信システム事業部

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー17F

TEL:03-5431-5971

FAX:03-5431-5970

<https://www.3d-inc.co.jp/>

E-mail:info@3d-inc.co.jp

1. はじめに

本ソフトウェアは、株式会社スリーディーのデジタルレコーダーをネットワーク経由でアクセスするためのソフトウェアです。複数地点に配置されたデジタルレコーダーにアクセスし、ライブ映像の閲覧、イベント（動き、音声、センサー）管理、録画ファイルの検索・再生・ダウンロード、リモート録画などの操作を実行できます。

■特徴

本ソフトウェアでアクセスするデジタルレコーダーを制限なく登録することができます。1画面で最大 144 カメラの画像を一括表示可能です。デュアルモニターに対応したコンピュータを使用することで最大 288 カメラの映像を閲覧できます。

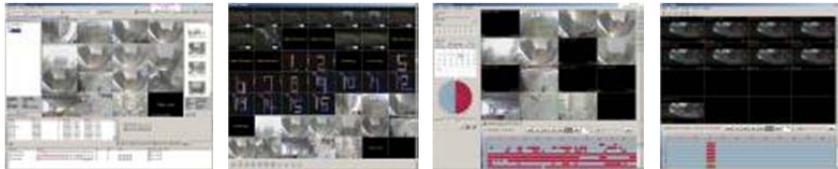
閲覧するユーザー及びグループ毎に権限を設定できます。

複数地点のデジタルレコーダーからのイベントのお知らせ（動き感知、音声検知、センサー検知など）を集中して管理できます。

リモートでデジタルレコーダーの録画像を検索・再生・ダウンロードするネットワークプレイヤーや、バックアップしたファイルを再生するためのバックアッププレイヤーも備えています。

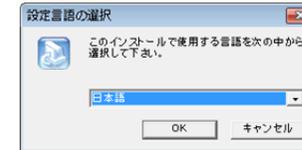
■使用するコンピュータの仕様

項目	最小スペック	推奨スペック
CPU	Intel Core i3 3.30 GHz 以上	Intel Core i7-7700 3.60 GHz 以上
RAM	4GB 以上	8GB 以上
メモリ	2GB 以上	4GB 以上
HDD 空き容量	80GB 以上	200GB 以上
通信	100MB 以上	GB 以上
OS	Windows XP SP3 以降	Windows 7 Pro 以降
その他	DirectX9.0 以上 OPEN GLES 2.xx	DirectX9.0 以上 OPEN GLES 2.xx

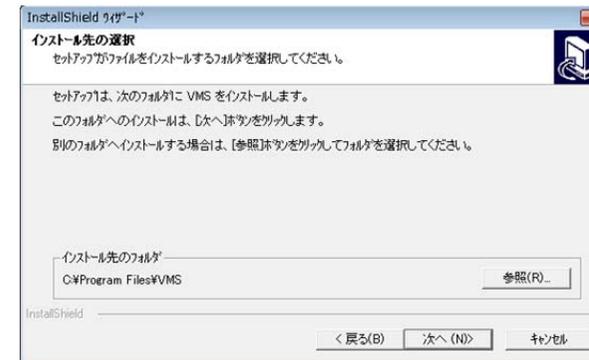


2. インストール方法

- ①本ソフトウェアプログラムのフォルダ内の「Setup.exe」をダブルクリックします。
- ②インストールウィザードの言語を選択する画面が表示されますので、「日本語」になっていることを確認し、「OK」をクリックします。



- ③ウィザードに従い、「次へ」をクリックし、セットアップを完了します。



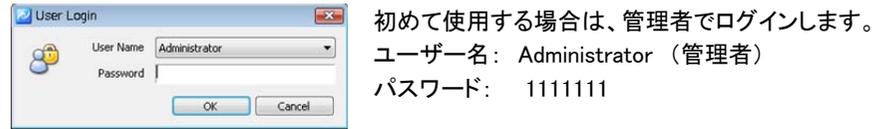
- ④セットアップ完了後、デスクトップ上に、「VMS」のアイコンが表示されます。

インストールの際の言語選択は、インストールウィザードで表示される言語の選択です。インストール後のプログラムの表示言語は、メニューバーの System > App Setup > Language タブより、「Japanese」を選択します。「OK」をクリックすると、プログラムを再起動するようにメッセージが表示されますので、プログラムを終了し、再度「VMS」を起動します。

3. システムログイン

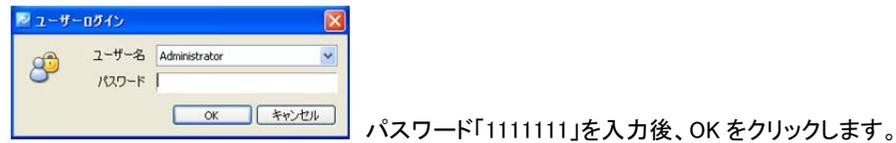
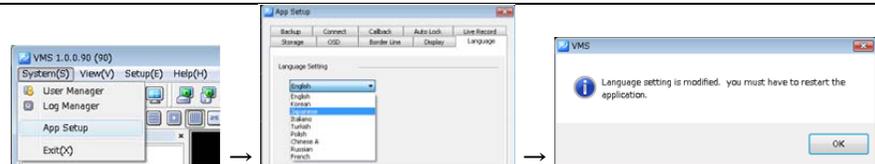
①「VMS」のアイコンをダブルクリックし、プログラムを起動します。

②ユーザーログインの画面が表示されます。



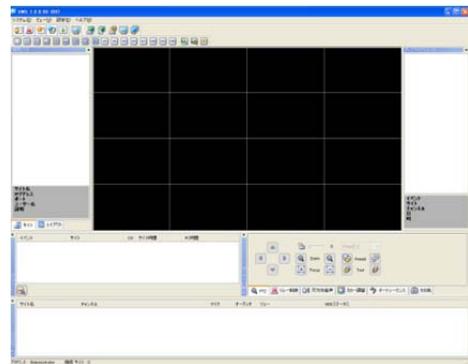
初めて使用する場合は、管理者でログインします。
 ユーザー名: Administrator (管理者)
 パスワード: 1111111

初めて起動した場合は、言語は英語で表示されます。
 メニューバーの System > App Setup > Language タブより、「Japanese」を選択します。「OK」をクリックすると、プログラムを再起動するようにメッセージが表示されますので、プログラムを終了し、再度「VMS」を起動します。



パスワード「1111111」を入力後、OK をクリックします。

ログイン後はパスワードを変更してください。変更したパスワードは大切に保管してください。パスワードの変更は、設定>「パスワード編集」で行います。



③基本画面が表示されます。

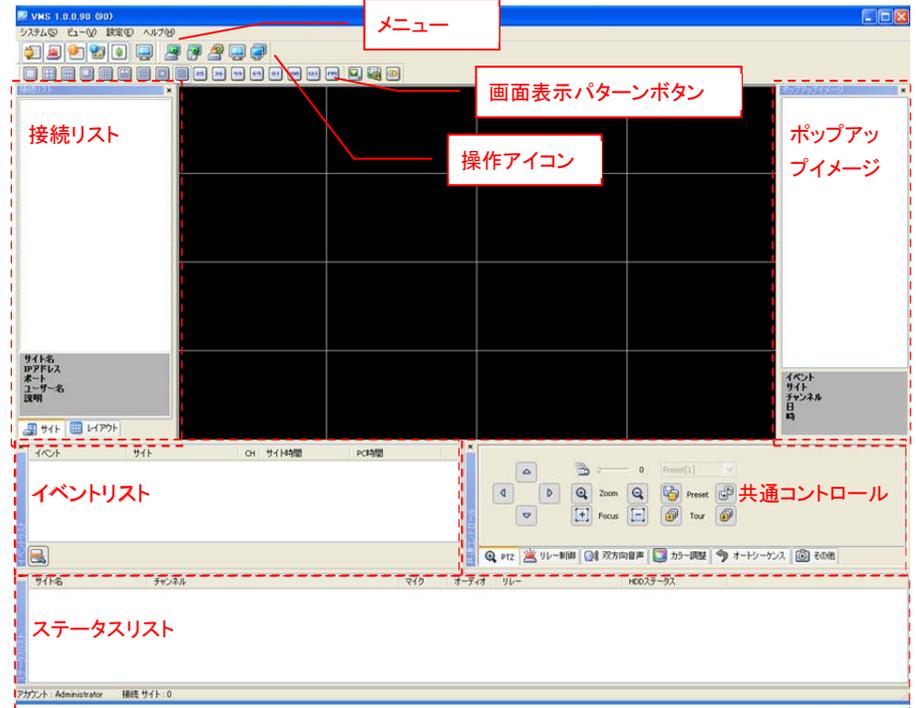
④プログラムを終了するには、画面右上の「×」をクリックします。

⑤画面が閉じます。

基本画面から画面構成を変更した場合、プログラム終了後も変更は維持されます。次回起動時は、変更した画面構成で表示されます。

4. 基本画面とメニュー

4-1. 画面構成 初めて起動後の画面構成は以下のとおりです。
 各小ウィンドウは「×」をクリックし閉じることができます。



4-2. 基本メニュー

①システム



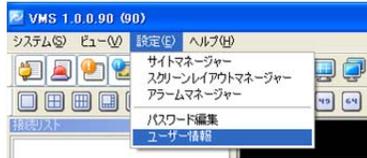
③設定

②ビュー



④ヘルプ





4-3. アイコンメニュー



メニュー	機能
1 サイト接続リスト	接続リスト画面の表示・非表示
2 イベントリスト	イベントリスト画面の表示・非表示
3 サイトステータスリスト	サイトステータスの表示・非表示
4 共通コントロール	共通コントロールの表示・非表示
5 ポップアップイメージリスト	ポップアップイメージの表示・非表示
6 セカンドスクリーン	セカンドスクリーンの表示 メイン画面とは別にウィンドウを表示します
7 再生プレイヤー	再生プレイヤーの表示 接続している録画装置の録画動画ファイルをネットワーク経由で再生するプレイヤーを表示します
8 バックアップファイルプレイヤー	バックアッププレイヤーの表示 閲覧しているコンピュータ内にバックアップした録画ファイルを再生するプレイヤーを表示します
9 DVR 設定マネージャー	DVR 設定マネージャーの表示 接続リストにある任意の録画装置の設定画面をネットワーク経由で表示します
10 診断マネージャー	DVR の状態の表示
11 プログラム情報	VMS プログラムバージョン情報の表示

基本画面から画面構成を変更した場合、プログラム終了後も変更は維持されません。次回起動時は、変更した画面構成で表示されます。

5. 登録

5-1. サイトマネージャー

5-1-1. サイトの追加 8

VMS でアクセスするサイト(デジタルレコーダー)を登録します。



①設定>サイトマネージャーをクリックすると、ウィンドウが表示されます。

②「追加」をクリックします。

③サイト追加のウィンドウ表示後、サイト情報を入力し、「OK」をクリックします。



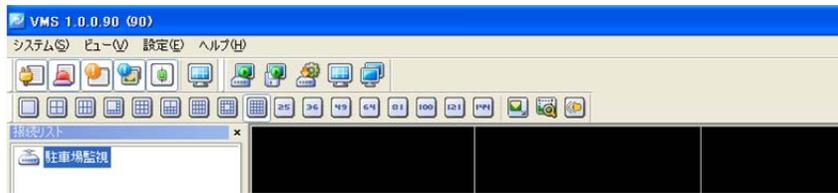
エイリアス名: 表示される名称です
任意の名前を入力します
説明: 任意入力
IP アドレス: デジタルレコーダーの IP アドレスを入力します
例) 192.168.0.240(デフォルト)
ポート番号: 2000(デフォルト)
カメラ数: デジタルレコーダーのチャンネル数を選択します
※実際の入力数ではありません
ユーザー名: user1(デフォルト)
パスワード: 1111111(デフォルト)
確認: 上記で入力したパスワードを再度入力します

デジタルレコーダーの IP アドレス、ポート番号は、デジタルレコーダーの管理者に確認してください。

④サイトマネージャーに、登録したデジタルレコーダーが追加されます。



⑤ サイトマネージャーを閉じると、接続リストに登録したサイトが表示されます。



登録するサイトの数に制限はありません。

5-1-2. 登録したサイトの編集

登録したサイトを編集する場合は、「編集」をクリックし、編集します。

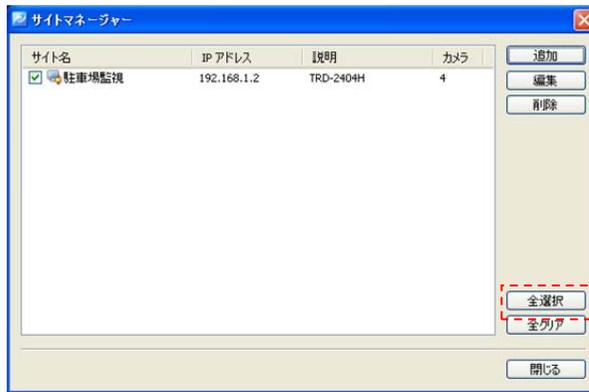
5-1-3. 登録したサイトの削除

登録したサイトを削除する場合は、「削除」をクリックすると、削除されます。

5-1-4. 全選択

サイトを追加すると、VMS がサイトに自動的に接続する設定になっています。

□からチェック(レ)を外すと、そのレイアウトに対して、VMS 起動時に確認を行いません。



5-1-5. 全クリア

VMS 起動時に全てのサイトに対して接続確認を行わない場合は、全クリアをクリックすると、□からチェック(レ)が外れ、全サイトへの起動時の接続確認を行いません。



5-2. スクリーンレイアウトマネージャー

5-2-1. スクリーンレイアウトの追加

スクリーンのレイアウトを希望のパターンで登録できます。



① 設定 > スクリーンレイアウトマネージャーをクリックします。

② スクリーンレイアウト設定画面が表示されます。

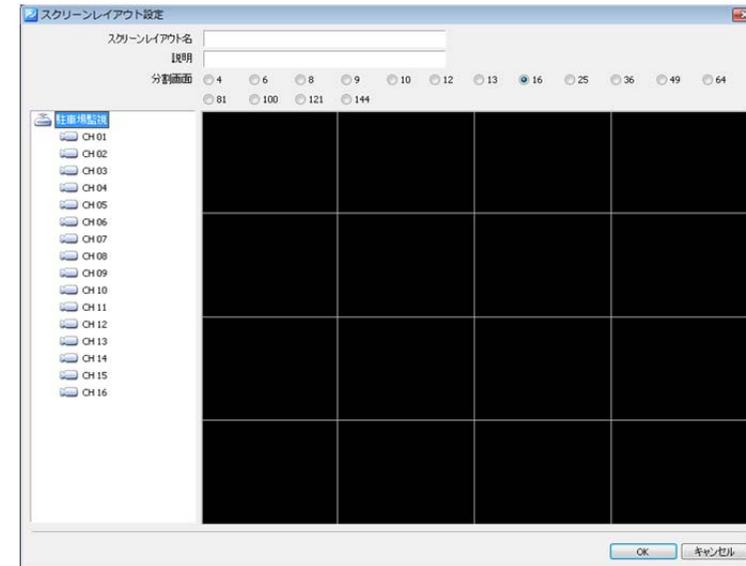
スクリーンレイアウト名: 任意の名前を入力します

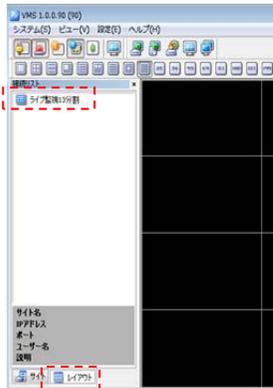
説明: 入力は任意です

分割画面: 任意の分割パターンを選択します

③ 画面の左のデジタルレコーダーのアイコンをダブルクリックし、カメラのアイコンをリスト表示します。

④ 選択した分割画面の各枠の中に、任意のカメラアイコンをドラッグ & ドロップします。画面枠に希望のカメラを順次割り当て、完了後、「OK」をクリックします。





- ⑤ライブ画面の接続リストウィンドウ下の「レイアウト」タブをクリックします。
- ⑥リストの中から登録したスクリーンレイアウトのアイコンをメイン画面上にドラッグ & ドロップします。
- ⑦登録したスクリーンレイアウトで表示されます。

5-2-2. 登録したスクリーンレイアウトの編集

登録したスクリーンレイアウトを編集する場合は、「編集」をクリックし、編集します。

5-2-3. 登録したスクリーンレイアウトの削除

登録したスクリーンレイアウトを削除する場合は、「削除」をクリックすると、削除されます。

5-2-4. 全選択

レイアウトを追加すると、VMS がサイトに自動的に接続する設定になっています。
□からチェック(レ)を外すと、そのサイトに対して、VMS 起動時に接続確認を行いません。

5-2-5. 全クリア

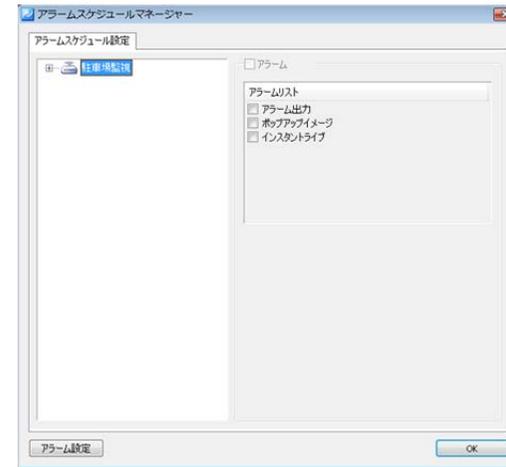
VMS 起動時に全てのサイトに対して接続確認を行わない場合は、全クリアをクリックすると、□からチェック(レ)が外れ、全サイトへの起動時の接続確認を行いません。



5-3. アラームマネージャー

登録した録画装置に接続されているアラームの管理をアラームマネージャーで行います。

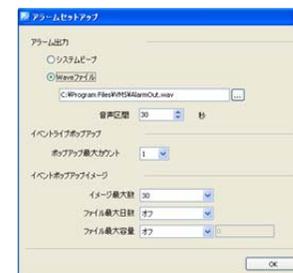
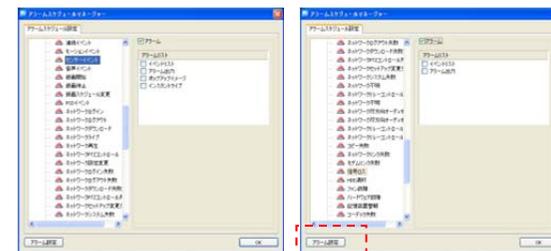
- ①設定>アラームマネージャーをクリックすると、下図のウィンドウが表示されます。



□アラーム
アラーム機能を ON にする場合は、
クリックして、チェックを入れます。

- アラームリスト
- アラーム出力
 - ポップアップイメージ
 - インスタントライブ

- ②録画装置のアイコンをダブルクリックすると、録画装置の全イベント項目が表示されます。
- ③アラーム機能を使用するイベント項目をクリックし選択後、□アラームが有効になります。
- ④□アラームをクリックし、イベント発生をお知らせする方法を設定します。
※イベント項目により、イベントリストの内容は異なります。



「アラーム設定」をクリックすると左図のウィンドウが表示されます。

アラーム出力: 任意の警告音を設定できます。
イベントライブポップアップ: 表示するサムネイル数を
表示します。

イベントポップアップイメージ: イメージ最大数、ファイル
最大日数、ファイル最大容量を設定でき
ます。

5-4. ユーザーマネージャー

管理者以外のユーザー及びユーザーグループを登録することができます。

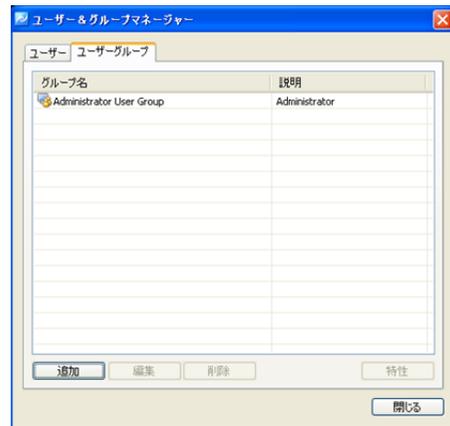
また、ユーザーグループに合わせて権限を設定できます。

初めて登録する場合は、デフォルトの管理者「Administrator」で行います。

 ユーザー登録は、管理者権限でログインして行います。

5-4-1. ユーザーグループ

5-4-1-1. ユーザーグループの追加



①システム>ユーザーマネージャーをクリックします。

②「ユーザーグループ」タブをクリックします。

③「追加」をクリックします。

④ユーザーグループ追加の画面が表示されます。



グループ名: 任意のグループ名を入力します

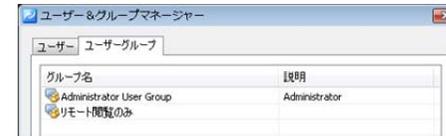
説明: 任意入力

グループパーミッション:

許可する権限をクリックをし選択します。

選択後、「OK」をクリックします。

⑤ユーザーグループリストに追加したグループが表示されます。



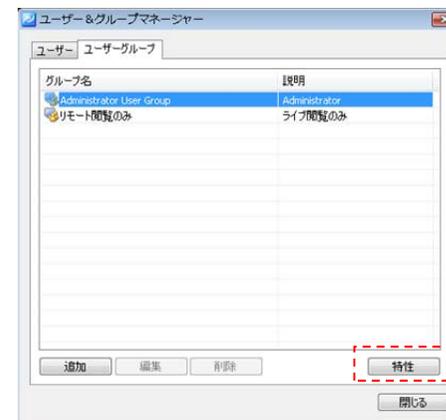
5-4-1-2. ユーザーグループの編集

登録したユーザーグループを編集する場合は、「編集」をクリックし、編集します。

5-4-1-3. ユーザーグループの削除

登録したユーザーグループを削除する場合は、「削除」をクリックすると、削除されます。

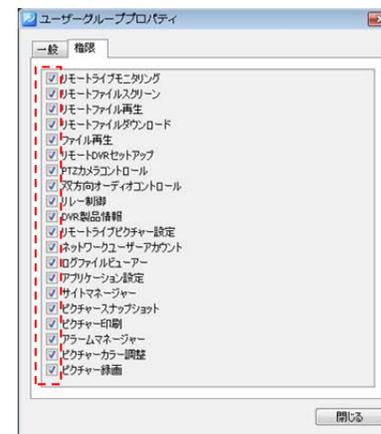
5-4-1-4. ユーザーグループの権限の確認



①登録したグループの権限を確認するには、グループをクリックして選択後、「特性」をクリックします。

②下図の画面が表示されます。権限がある操作には、□にチェック(レ)が入っています。

③確認後、「閉じる」をクリックしユーザーグループプロパティの画面を閉じます。



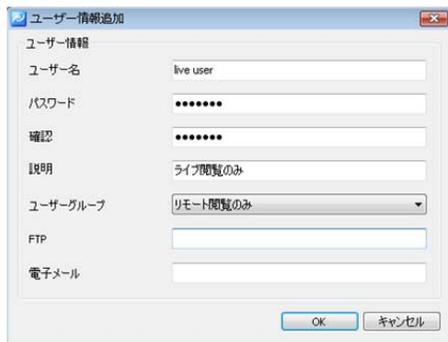
5-4-2. ユーザー

5-4-2-1. ユーザーの追加



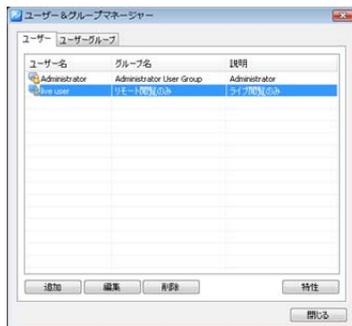
- ①システム>ユーザーマネージャーをクリックします。
- ②「ユーザー」タブをクリックします。
- ③「追加」をクリックします。

④ユーザー情報追加の画面が表示されます。



ユーザー名: (半角英数字)
任意の名前を入力します
パスワード: (半角英数字)
任意のパスワードを入力します
確認: 上記パスワードを入力します
説明: 任意入力
ユーザーグループ: リストから選択
FTP: 任意入力
電子メール: 任意入力
「OK」をクリックします。

⑤ユーザーリストに追加したユーザーが表示されます。



5-4-2-2. ユーザーの編集

登録したユーザーを編集する場合は、「編集」をクリックし、編集します。

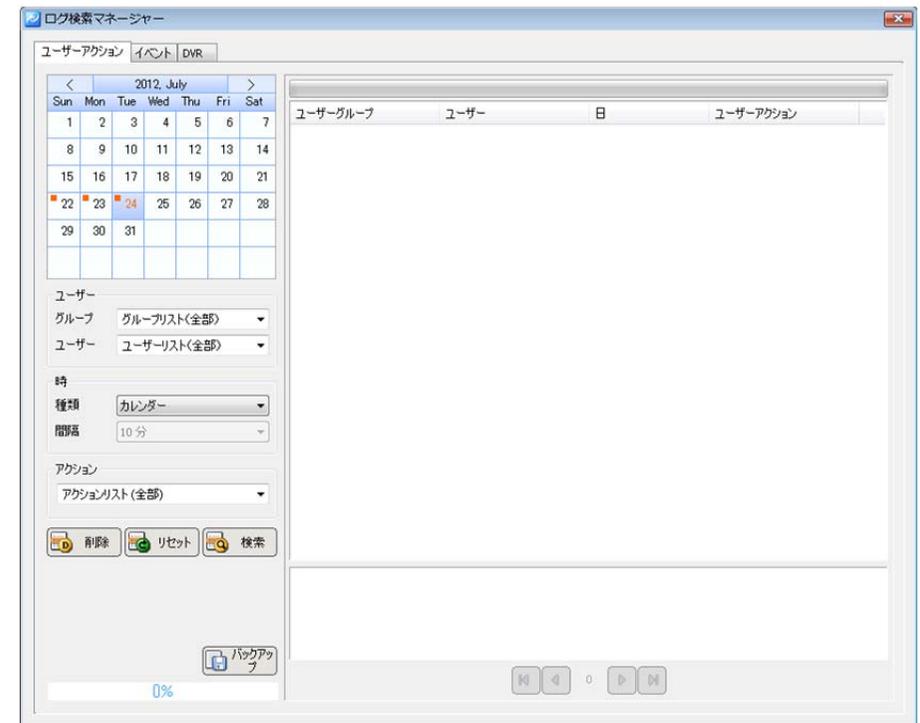
5-4-2-3. ユーザーの削除

登録したユーザーを削除する場合は、「削除」をクリックすると、削除されます。

6. ログの確認

ログマネージャーで、ログ状況を確認できます。

- ①システム>ログマネージャーをクリックします。
- ②ログ検索マネージャーが表示されます。

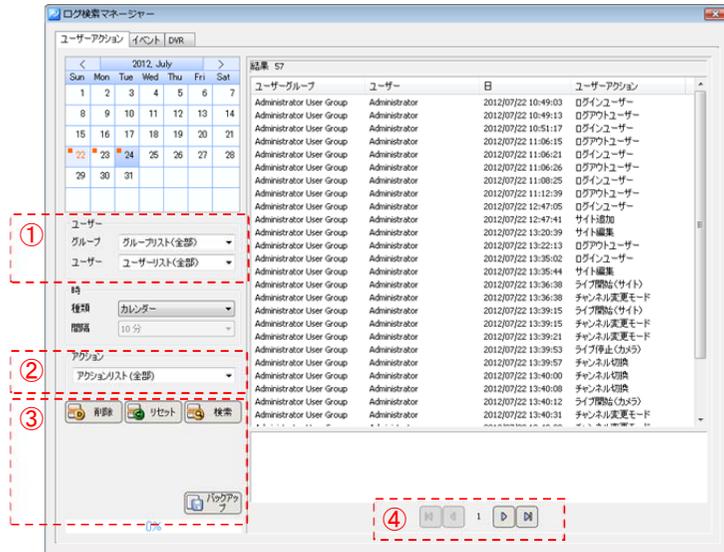


③ログを確認したい日を選択すると、右画面に、ログが表示されます。

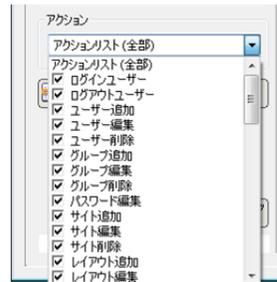
ログ検索マネージャーは、3つのタブで構成されます。
ユーザーアクション: ユーザーのプログラム操作のログ
イベント: デジタルレコーダーのイベントのログ
DVR: デジタルレコーダーのログ

6-1. ユーザーアクション

ユーザーグループ、ユーザー、日時、操作をリスト表示します。



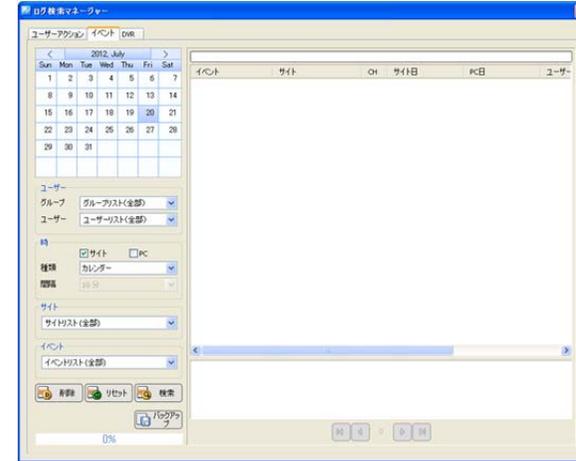
- ①ユーザー(グループ、ユーザー)で絞り込み検索表示できます。
- ②アクションの種類で絞り込み表示できます。



- ③必要に応じて、ログの「削除」、「リセット」、「検索」、「バックアップ」を行います。
- ④ログが数ページある場合は、ページを移動します。

6-2. イベントログ

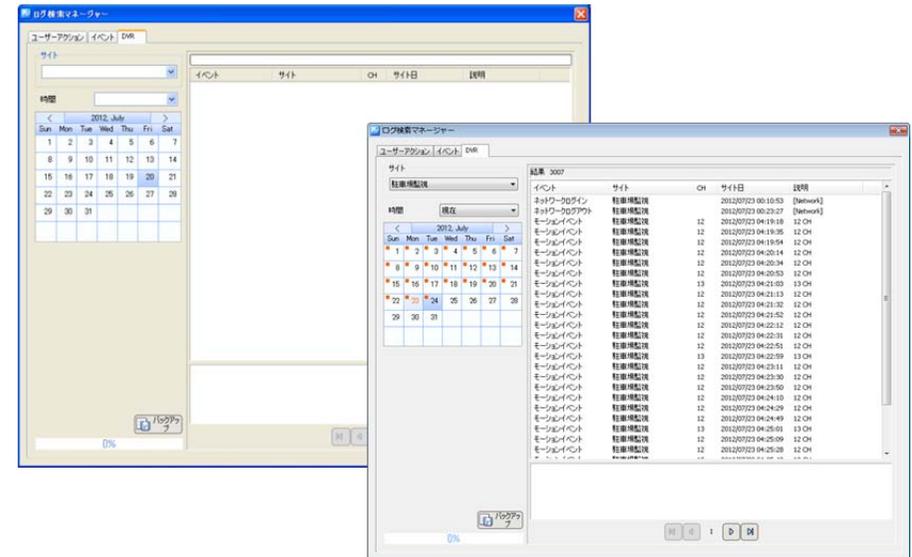
イベントのログのみを表示します。



6-3. デジタルレコーダーのログ

デジタルレコーダーで発生したログを確認できます。

任意のサイトを選択し、カレンダーから確認したい年月日を指定します。日にちをクリックすると、その日に発生したログを右画面に表示します。



7. アプリケーション設定

7-1. ストレージ



各種ファイルの保存先を設定します。デフォルトの保存先は、Cドライブ>Temp フォルダ内です。

①キャプチャーイメージファイル

VMS で保存した静止画は、Image フォルダ内に保存されます。

②録画ファイル

VMS で録画したファイルは、Video フォルダ内に保存されます。

③設定ファイル

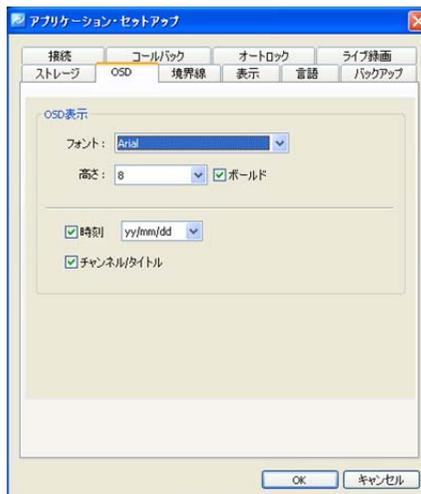
VMS の設定ファイルは、Setup フォルダ内に保存されます。

いずれも、参照ボタンをクリックし、保存先を変更できます。



保存先の HDD ドライブの空き容量に注意してください。特に録画ファイルの保存には十分な空きスペースが必要です。HDD がいっぱいになると、録画は停止し、コンピュータのパフォーマンスが下がります。

7-2. OSD



OSD (オンスクリーンディスプレイ) のフォントや表示項目を設定します。

フォント: Arial (デフォルト)

高さ: 8 ボールド

※デジタルレコーダーのサイト名を日本語で入力した場合、日本語フォントを選択します。英語フォントの場合、サイト名が文字化けします。

時刻: 表示・非表示

yy/mm/dd (年 月 日) 表示

dd/mm/yy

mm/dd/yy

チャンネルタイトル: 表示・非表示

表示しない場合は、それぞれの口をクリックしチェックを外します。

7-3. 境界線

各画像枠の境界線のピクセル幅と色を任意に設定できます。



境界線表示: 表示 (デフォルト)

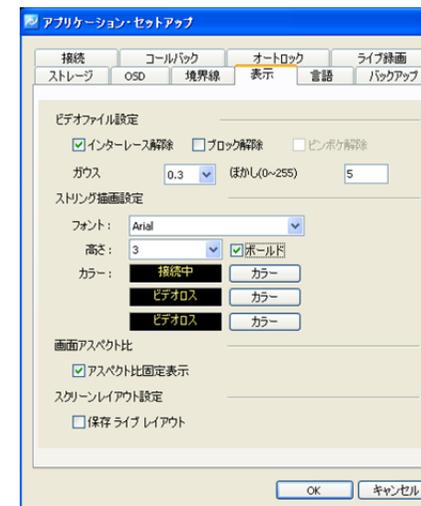
非表示 (枠なし) にする場合は、 をクリックし、チェックを外します。

カラー: グレー (デフォルト)

「カラー」ボタンをクリックし、任意の色を選択します。

7-4. 表示

ビデオフィルターの設定を変更できます。



ビデオファイル設定:

インターレース解除、ブロック解除などの機能を設定できます。

ストリング描画設定

接続、信号ロス、未接続などのメッセージのフォントと色を指定できます。

画像アスペクト比固定表示

スクリーンレイアウト設定

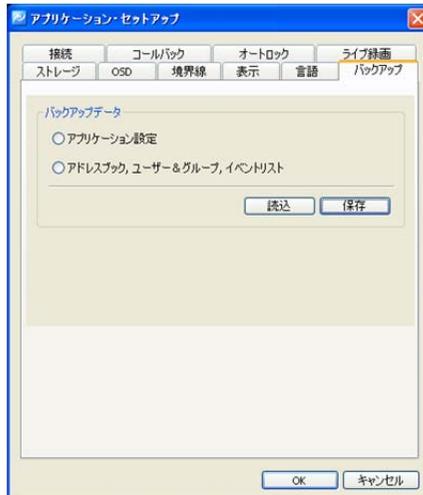
7-5. バックアップ

VMS の表示言語を設定します。デフォルトは、英語です。



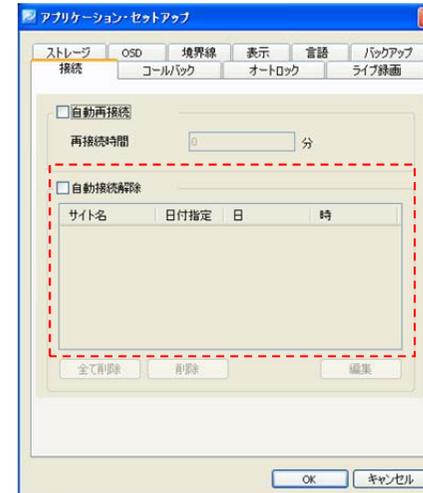
7-6. バックアップ

アプリケーションの設定、アドレスブック・ユーザーグループ・イベントリスト等設定を保存できます。選択し「保存」をクリックすると、保存先のウィンドウが表示されます。任意の保存先を設定し、保存します。指定した保存先に、「bp.rbk」ファイルが生成されます。保存した設定内容を読み込むこともできます。



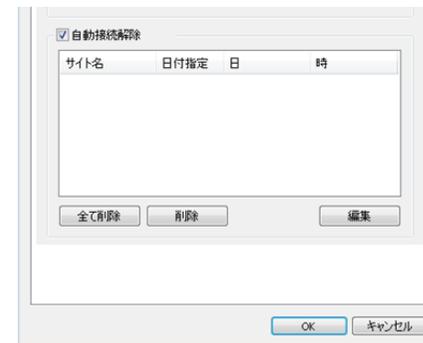
7-7. 接続

自動再接続・自動接続の設定ができます。



通信トラブルが発生し、映像が切断された場合、自動で再接続する秒数を設定します。

自動で接続を解除することができます。「自動接続解除」をクリックすると、下図のとおり、サイト選択等を実行できます。



編集をクリックし、サイトを選択します。

7-8. コールバック

コールバックに使用するポートを設定します。



7-9. オートロック

オートロックを設定すると、設定したインターバル時間(分)でロックがかかります。



7-10. ライブ録画

ライブ録画の際に、「録画全部」もしくは「録画イベント」のいずれかを設定します。



8. 設定

8-1. パスワードの編集

- ①メニューバーの設定>パスワードの修正をクリックします。
- ②現在ログインしているユーザーのユーザー名が表示されます。
- ③現在のパスワードを入力後、新しいパスワードを入力します。
- ④「OK」をクリックします。



8-2. ユーザー情報

現在ログインしているユーザーの情報(ユーザー名、グループ名、権限)を参照することができます。



9. ビューアー

9-1. ライブ画面

ライブ画像の閲覧方法には、3通りの方法があります。

- 1) 接続リスト上のデジタルレコーダーのアイコンをメイン画面にドラッグ & ドロップします。
- 2) 任意の分割パターン上の任意の画像枠に、任意のカメラアイコンをドラッグ & ドロップします。任意のレイアウトで表示できます。
- 3) スクリーンレイアウトマネージャーに登録したレイアウトで表示します。接続リストの「レイアウト」タブに登録しているレイアウトのアイコンをメイン画面にドラッグ & ドロップします。

アイコンをドラッグ & ドロップして追加するアイコンの数に応じて、分割パターンは自動的に変わります。

メイン画面内で表示されている任意の画像を別の枠にドラッグ & ドロップで移動させることができます。

既に画像が表示されている枠に別の枠の画像をドラッグ & ドロップした場合、それぞれ入れ替わって表示されます。

1) 接続リスト上のデジタルレコーダーを選択して表示する

- ① 接続リスト上の任意のデジタルレコーダーアイコンをドラッグ & ドロップします。
- ② デジタルレコーダーに接続されている全てのカメラの画像が表示されます。

デジタルレコーダーの接続を切断するには、接続リストの任意のアイコン上で右クリックし、「切断」をクリックします。メイン画面上から画像が消えます。

画面分割パターンは、デジタルレコーダーのチャンネル数に応じて変わります。

一括画面表示の最大数は、144 分割 (12 × 12) です。

2) 接続リスト上のカメラを選択して任意の画面レイアウトで表示する

- ① 接続リスト上のデジタルレコーダーアイコンをダブルクリックして、カメラアイコンを表示します。
- ② 画面分割パターン上の任意のボタンをクリックします。



- ③ 任意のカメラを任意の分割枠位置にドラッグ & ドロップします。
- ④ 任意のレイアウトで表示できます。

カメラ画像を非表示にするには、カメラ画像をメイン画面外へドラッグ & ドロップします。

画面分割パターンは、単画面 ~ 144 分割画面で設定できます。

9-2. セカンドスクリーン

メイン画面とは別に、セカンドスクリーンを表示し、さらに画像を表示することができます。

コンピュータがデュアルモニターに対応している場合、有効です。

- ① セカンドスクリーンのボタンをクリックします。



- ② セカンドスクリーンを 2 つ目のモニターへ移動します。

- ③ セカンドモニターの分割表示パターンを選択します。

- ④ 接続リストから、デジタルレコーダーもしくはカメラのアイコンをドラッグ & ドロップし、画像を表示します。

カメラ画像を非表示にするには、カメラ画像をセカンドスクリーン外へドラッグ & ドロップします。

コンピュータがデュアルモニターに対応していない場合、VMS 画面上にセカンドスクリーンが表示されません。

9-3. イベントリスト

デジタルレコーダーのイベントがイベントリストに表示されます。

イベント情報表示のために、設定は必要ありません。

イベント	サイト	CH	サイト時間	PC時間
連続イベント	駐車場監視	1	2012/07/20 11:50:36	2012/07/20 11:49:27
連続イベント	駐車場監視	2	2012/07/20 11:50:36	2012/07/20 11:49:27
連続イベント	駐車場監視	3	2012/07/20 11:50:36	2012/07/20 11:49:27
連続イベント	駐車場監視	4	2012/07/20 11:50:36	2012/07/20 11:49:27

イベントリストウィンドウは、VMS 画面上で自在に移動させることができます。

9-4. ステータスリスト

下図のとおり、接続しているデジタルレコーダーのステータスが表示されます。

サイト名	チャンネル	マイク	オーディオ	リレー	HDDステータス
駐車場監視	1, 2, 3, 4	ON	ON	ON	130 / 160 GB

ステータスリストウィンドウは、VMS 画面上で自在に移動させることができます。

9-5. ポップアップイメージ

ポップアップイメージは、デジタルレコーダーでイベント発生時、デジタルレコーダーから情報を受け取り、該当の画像をサムネイルで表示されるウィンドウです。

ポップアップ設定は、アプリケーション設定で行います。

ポップアップを設定するには、設定 > アラームマネージャーをクリックします。

5-3. アラームマネージャーを参照してください。

9-6. 共通コントロール

共通コントロールには、以下のタブがあります。

- PTZカメラコントロール：録画装置にPTZカメラを接続している場合、有効
- リレー制御：録画装置にセンサー等リレー制御機器を接続している場合、有効
- 双方向音声：録画装置にマイク・スピーカーを接続している場合、有効
- カラー調整：画面上で表示する画像のカラー調整を実行可
選択したチャンネルのみ、もしくは、全チャンネルに対し、調整可能
- オートシーケンス：表示中の画面に対し、任意の分割パターンで自動切換え表示可
- その他：静止画保存、録画、印刷、フルスクリーンモード機能

9-6-1. PTZカメラコントローラ



9-6-2. リレー制御



9-6-3. 双方向音声



9-6-4. カラー調整



9-6-5. オートシーケンス

- ①自動切換表示する分割パターンをリストから選択します
- ②切り替える時間(秒)を設定します
- ③「オートシーケンス」ボタンをクリックします
- ④再度このボタンをクリックすると自動切換表示を終了します



9-6-6. その他

- スナップショット：静止画を保存します
- 録画：動画を保存します
- 印刷：保存した静止画を印刷します
- フルスクリーンモード：カメラ画像のみ表示になります

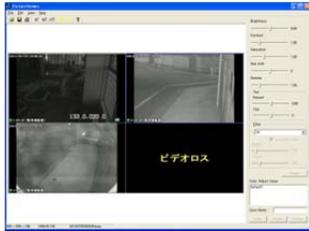


9-6-6-1. スナップショット(静止画保存)

スナップショットは、現在メイン画面に表示している分割画面のまま保存されます。単画面の静止画像を保存する場合は、任意の画像を単画面表示後、スナップショットボタンをクリックします。

- ①「スナップショット」ボタンをクリックします
- ②ピクチャーウィンドウが表示されます
- ③必要に応じて画面上で画質調整することができます
※画質を調整した設定を保存できます。「Save Name」のテキスト欄の「Default1」を削除し、任意の名前を入力します。「Add」をクリックすると、保存されます
- ④メニューアイコンの保存ボタンを押すと、デフォルトの保存先(7-1. ストレージ参照)に保存されます。この際のファイル名は、年月日時分秒(bmp)です
例) 20120725200435.bmp
- ⑤ファイル名を任意の名前に変更して入力する場合は、メニューバーの File>Save as をクリックし、保存先を指定し、ファイル名を入力して保存します

ピクチャービューアー画面



9-6-6-2. 録画 現在表示しているカメラの画像(動画)を閲覧しているコンピュータに保存します。

- ①「録画」ボタンをクリックすると、各カメラ画像上に「REC」アイコンが表示されます
- ②録画を停止するには、再度「録画」ボタンをクリックします
※保存先は、デフォルトの保存先(7-1. ストレージ参照)に保存されます
フォルダ名は、「年月日時分秒_録画装置名」です
例) 20120701200820_駐車場監視

9-6-6-3. 印刷 スナップショットで保存した静止画像を印刷します。

- ①「印刷」ボタンをクリックすると、静止画保存先のウィンドウが表示されます
- ②印刷する画像をクリックし、「印刷」ボタンをクリックします



 コンピュータに接続されているプリンタで印刷します。

9-6-6-4. フルスクリーンモード

VMS 画面の操作枠を表示せずに、カメラが表示されているメイン画面のみをフルスクリーンで表示します

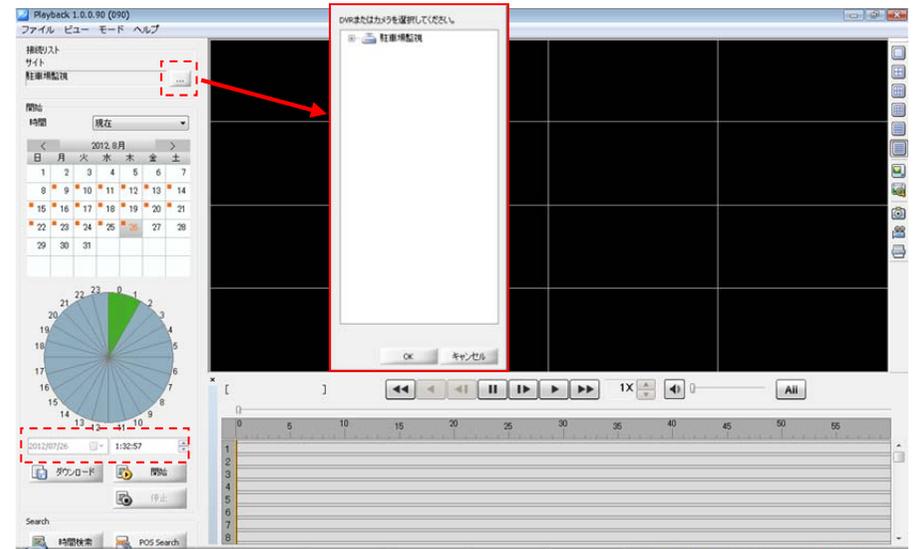
- ①「フルスクリーン」ボタンをクリックすると、操作枠が消え、画像のみ表示されます。
- ②フルスクリーンを解除するには、画面上で右クリックするか、キーボード上の ESC を押します

10. 再生プレイヤー

接続している録画装置に接続し、録画装置内の録画ファイルを検索・閲覧・ダウンロードすることが可能です。



- ① 再生プレイヤーボタンをクリックすると、再生プレイヤーが表示されます
- ②サイトの参照ボタンをクリックすると、登録している装置のアイコンが表示されます
- ③リストから、任意の装置をクリックで選択し、「OK」をクリックします



- ④再生する日時を指定します
- ⑤「開始」をクリックします。画像が画面上で再生されます
- ⑥録画ファイルを閲覧しているコンピュータにファイルをコピーする場合は、「ダウンロード」をクリックします



録画装置の時刻補正を行って、時刻が変わっている場合、開始時刻の「現在」ではなく、リスト選択で、「過去 XX」を選択します。
「現在」では、時刻補正前の画像は表示できません。

11. バックアップファイルプレイヤー

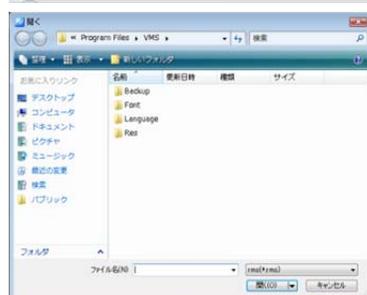
閲覧しているコンピュータにダウンロードした録画ファイルや、コンピュータでリモート録画したファイルを再生するプレイヤーです。

MEMO



① Backupプレイヤーボタンをクリックすると、Backupプレイヤーが表示されます

② 動画ファイルの保存先を開きます



③ 保存先がデフォルトの場合は、Temp フォルダ内の「Video」に保存されています

④ 再生するフォルダを選択し、開きます

⑤ フォルダ内の任意のカメラ画像を選択します

⑥ 画像が再生されます

以上